

表5 年齢別エイズ検査受検経験(生涯・過去1年間)、身近感、感染可能性の認知【NLGR2008】

	年齢階級 (NLGR2008)										合計	カイ2乗 検定		
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			n	%
これまでのHIV検査受検経験														
ある	27	57.4	21	75.0	26	92.9	22	91.7	9	69.2	105	75.0	0.003	
ない	20	42.6	7	25.0	2	7.1	2	8.3	4	30.8	35	25.0		
合計	47	100.0	28	100.0	28	100.0	24	100.0	13	100.0	140	100.0		
過去1年間のHIV検査受検経験(非該当含む)														
受けた	18	38.3	13	46.4	16	57.1	12	50.0	3	23.1	62	44.3	0.258	
受けなかった	29	61.7	15	53.6	12	42.9	12	50.0	10	76.9	78	55.7		
合計	47	100.0	28	100.0	28	100.0	24	100.0	13	100.0	140	100.0		

表6 年齢別エイズ検査受検経験(生涯・過去1年間)、身近感、感染可能性の認知【NLGR2009】

	年齢階級 (NLGR2009)										合計	カイ2乗 検定		
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			n	%
これまでのHIV検査受検経験														
ある	40	64.5	48	77.4	41	78.8	48	87.3	29	72.5	206	76.0	0.064	
ない	22	35.5	14	22.6	11	21.2	7	12.7	11	27.5	65	24.0		
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0		
過去1年間のHIV検査受検経験(非該当含む)														
受けた	25	40.3	28	45.2	22	42.3	30	54.5	18	45.0	123	45.4	0.608	
受けなかった	37	59.7	34	54.8	30	57.7	25	45.5	22	55.0	148	54.6		
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0		
過去6ヶ月間を振り返って感染する可能性のある行動をしたと思うか？														
全くなかった	10	16.1	4	6.8	4	7.8	5	9.8	2	5.3	25	9.6	0.858	
あまりなかった	8	12.9	12	20.3	15	29.4	12	23.5	10	26.3	57	21.8		
少し可能性があった	27	43.5	28	47.5	21	41.2	20	39.2	15	39.5	111	42.5		
かなり可能性があった	13	21.0	10	16.9	8	15.7	10	19.6	7	18.4	48	18.4		
分からない	4	6.5	5	8.5	3	5.9	4	7.8	4	10.5	20	7.7		
合計	62	100.0	59	100.0	51	100.0	51	100.0	38	100.0	261	100.0		
周囲にHIV感染者はいると思うか？														
いる	14	22.6	19	30.6	17	32.7	27	49.1	20	50.0	97	35.8	0.152	
いると思う	8	12.9	8	12.9	7	13.5	7	12.7	5	12.5	35	12.9		
いないと思う	14	22.6	20	32.3	8	15.4	7	12.7	6	15.0	55	20.3		
いない	12	19.4	7	11.3	10	19.2	7	12.7	4	10.0	40	14.8		
分からない	14	22.6	8	12.9	10	19.2	7	12.7	5	12.5	44	16.2		
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0		

\* 過去6ヶ月間を振り返って感染する可能性については無回答を除いて集計したため総数が異なる。

表7 年齢別アナルセックス経験割合とコンドーム使用状況【NLGR2008】

	年齢階級 (NLGR2008)										合計 n=140	カイ2乗 検定	
	24歳以下 n=47		25-29歳 n=28		30-34歳 n=28		35-39歳 n=24		40歳以上 n=13				
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			
<b>過去6ヶ月間のアナルセックス経験割合</b>													
ある	39	83.0	19	67.9	19	67.9	14	58.3	8	61.5	99	70.7	0.531
ない	6	12.8	9	32.1	7	25.0	9	37.5	5	38.5	36	25.7	
無回答	2	4.2	0	0.0	2	7.1	1	4.2	0	0.0	5	3.6	
合計	47	100.0	28	100.0	28	100.0	24	100.0	13	100.0	140	100.0	
<b>過去6ヵ月間における特定相手タチのときのコンドーム使用状況</b>													
必ず使った	12	52.2	8	61.5	4	44.4	3	33.3	2	40.0	29	49.2	0.831
使うことが多かった	2	8.7	2	15.4	3	33.3	2	22.2	1	20.0	10	16.9	
五分五分	3	13.0	1	7.7	0	0.0	0	0.0	1	20.0	5	8.5	
使わないことが多かった	2	8.7	1	7.7	0	0.0	2	22.2	0	0.0	5	8.5	
使わなかった	4	17.4	1	7.7	2	22.2	2	22.2	1	20.0	10	16.9	
合計	23	100.0	13	100.0	9	100.0	9	100.0	5	100.0	59	100.0	
<b>過去6ヵ月間における特定相手ウケのときのコンドーム使用状況</b>													
必ず使った	16	53.3	10	62.5	9	60.0	2	40.0	1	25.0	38	54.3	0.855
使うことが多かった	4	13.3	1	6.3	2	13.3	1	20.0	1	25.0	9	12.9	
五分五分	2	6.7	3	18.8	1	6.7	0	0.0	0	0.0	6	8.6	
使わないことが多かった	3	10.0	1	6.3	1	6.7	0	0.0	1	25.0	6	8.6	
使わなかった	5	16.7	1	6.3	2	13.3	2	40.0	1	25.0	11	15.7	
合計	30	100.0	16	100.0	15	100.0	5	100.0	4	100.0	70	100.0	
<b>過去6ヵ月間におけるその場限りの相手タチのときのコンドーム使用状況</b>													
必ず使った	12	52.2	7	70.0	7	70.0	5	55.6	4	80.0	35	61.4	0.858
使うことが多かった	2	8.7	2	20.0	2	20.0	2	22.2	1	20.0	9	15.8	
五分五分	3	13.0	0	0.0	1	10.0	0	0.0	0	0.0	4	7.0	
使わないことが多かった	3	13.0	1	10.0	0	0.0	1	11.1	0	0.0	5	8.8	
使わなかった	3	13.0	0	0.0	0	0.0	1	11.1	0	0.0	4	7.0	
合計	23	100.0	10	100.0	10	100.0	9	100.0	5	100.0	57	100.0	
<b>過去6ヵ月間におけるその場限りの相手ウケのときのコンドーム使用状況</b>													
必ず使った	14	51.9	7	63.6	10	76.9	3	75.0	0	0.0	34	59.6	0.476
使うことが多かった	3	11.1	2	18.2	2	15.4	0	0.0	1	50.0	8	14.0	
五分五分	3	11.1	1	9.1	1	7.7	0	0.0	1	50.0	6	10.5	
使わないことが多かった	3	11.1	1	9.1	0	0.0	1	25.0	0	0.0	5	8.8	
使わなかった	4	14.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	7.0	
合計	27	100.0	11	100.0	13	100.0	4	100.0	2	100.0	57	100.0	
<b>過去6ヵ月間の特定相手とのコンドーム使用状況(再掲)</b>													
常用	19	52.8	11	57.9	8	50.0	5	38.5	3	42.9	46	50.5	0.843
非常用	17	47.2	8	42.1	8	50.0	8	61.5	4	57.1	45	49.5	
合計	36	100.0	19	100.0	16	100.0	13	100.0	7	100.0	91	100.0	
<b>過去6ヵ月間の不特定相手とのコンドーム使用状況(再掲)</b>													
常用	15	48.4	7	58.3	12	80.0	6	60.0	4	66.7	44	59.5	0.362
非常用	16	51.6	5	41.7	3	20.0	4	40.0	2	33.3	30	40.5	
合計	31	100.0	12	100.0	15	100.0	10	100.0	6	100.0	74	100.0	
<b>過去6ヵ月間のコンドーム使用状況(再掲)</b>													
常用	19	48.7	10	52.6	11	57.9	6	42.9	4	50.0	50	50.5	0.935
非常用	20	51.3	9	47.4	8	42.1	8	57.1	4	50.0	49	49.5	
合計	39	100.0	19	100.0	19	100.0	14	100.0	8	100.0	99	100.0	

\* 過去6ヵ月間のアナルセックスにおけるコンドーム使用状況は該当者のみを対象として集計したため総数は異なる。

表8 年齢別アナルセックス経験割合とコンドーム使用状況【NLGR2009】

	年齢階級 (NLGR2009)										合計 n=271	カイ2乗 検定	
	24歳以下 n=62		25-29歳 n=62		30-34歳 n=52		35-39歳 n=55		40歳以上 n=40				
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			
<b>過去6ヶ月間のアナルセックス経験割合</b>													
ある	41	66.1	41	66.1	31	59.6	33	60.0	23	57.5	169	62.4	0.835
ない	21	33.9	21	33.9	21	40.4	22	40.0	17	42.5	102	37.6	
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0	
<b>過去6ヶ月間における特定相手タチのときのコンドーム使用状況</b>													
必ず使った	21	70.0	16	51.6	11	47.8	17	70.8	13	65.0	78	60.9	0.195
使うことが多かった	4	13.3	9	29.0	5	21.7	5	20.8	2	10.0	25	19.5	
五分五分	2	6.7	1	3.2	2	8.7	0	0.0	0	0.0	5	3.9	
使わないことが多かった	0	0.0	2	6.5	3	13.0	0	0.0	0	0.0	5	3.9	
使わなかった	3	10.0	3	9.7	2	8.7	2	8.3	5	25.0	15	11.7	
合計	30	100.0	31	100.0	23	100.0	24	100.0	20	100.0	128	100.0	
<b>過去6ヶ月間における特定相手ウケのときのコンドーム使用状況</b>													
必ず使った	22	61.1	18	50.0	11	50.0	13	59.1	11	64.7	75	56.4	0.405
使うことが多かった	5	13.9	10	27.8	5	22.7	4	18.2	1	5.9	25	18.8	
五分五分	1	2.8	1	2.8	3	13.6	1	4.5	0	0.0	6	4.5	
使わないことが多かった	2	5.6	2	5.6	2	9.1	0	0.0	0	0.0	6	4.5	
使わなかった	6	16.7	5	13.9	1	4.5	4	18.2	5	29.4	21	15.8	
合計	36	100.0	36	100.0	22	100.0	22	100.0	17	100.0	133	100.0	
<b>過去6ヶ月間におけるその場限りの相手タチのときのコンドーム使用状況</b>													
必ず使った	16	69.6	15	55.6	15	62.5	19	79.2	14	70.0	79	66.9	0.426
使うことが多かった	4	17.4	7	25.9	4	16.7	3	12.5	2	10.0	20	16.9	
五分五分	3	13.0	3	11.1	2	8.3	0	0.0	1	5.0	9	7.6	
使わないことが多かった	0	0.0	1	3.7	2	8.3	0	0.0	0	0.0	3	2.5	
使わなかった	0	0.0	1	3.7	1	4.2	2	8.3	3	15.0	7	5.9	
合計	23	100.0	27	100.0	24	100.0	24	100.0	20	100.0	118	100.0	
<b>過去6ヶ月間におけるその場限りの相手ウケのときのコンドーム使用状況</b>													
必ず使った	19	76.0	17	53.1	12	63.2	13	61.9	10	66.7	71	63.4	0.372
使うことが多かった	3	12.0	10	31.3	5	26.3	3	14.3	2	13.3	23	20.5	
五分五分	2	8.0	3	9.4	2	10.5	2	9.5	0	0.0	9	8.0	
使わないことが多かった	1	4.0	1	3.1	0	0.0	1	4.8	0	0.0	3	2.7	
使わなかった	0	0.0	1	3.1	0	0.0	2	9.5	3	20.0	6	5.4	
合計	25	100.0	32	100.0	19	100.0	21	100.0	15	100.0	112	100.0	
<b>過去6ヶ月間の特定相手とのコンドーム使用状況（再掲）</b>													
常用	24	58.5	18	43.9	13	44.8	20	66.7	14	60.9	89	54.3	0.251
非常用	17	41.5	23	56.1	16	55.2	10	33.3	9	39.1	75	45.7	
合計	41	100.0	41	100.0	29	100.0	30	100.0	23	100.0	164	100.0	
<b>過去6ヶ月間の不特定相手とのコンドーム使用状況（再掲）</b>													
常用	22	71.0	16	45.7	14	51.9	22	73.3	13	65.0	87	60.8	0.102
非常用	9	29.0	19	54.3	13	48.1	8	26.7	7	35.0	56	39.2	
合計	31	100.0	35	100.0	27	100.0	30	100.0	20	100.0	143	100.0	
<b>過去6ヶ月間のコンドーム使用状況（再掲）</b>													
常用	25	61.0	17	41.5	16	51.6	23	69.7	14	60.9	95	56.2	0.141
非常用	16	39.0	24	58.5	15	48.4	10	30.3	9	39.1	74	43.8	
合計	41	100.0	41	100.0	31	100.0	33	100.0	23	100.0	169	100.0	

\* 過去6ヶ月間のアナルセックスにおけるコンドーム使用状況は該当者のみを対象として集計したため総数は異なる。

表9 来場者における受検動機の有無(2008&2009)とNLGR2009の広報接触先

	年齢階級 (NLGR2008)										合計	カイ2乗 検定	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			
	n=47		n=28		n=28		n=24		n=13		n=140		
NLGR2008無料検査会の受検意図													
受けない&無回答	21	44.7	9	32.14	14.0	50.0	9	37.5	5.0	38.5	58	41.4	0.690
受けた&受ける予定	26	55.3	19	67.86	14.0	50.0	15	62.5	8.0	61.5	82	58.6	
合計	47	100.0	28	100	28.0	100.0	24	100	13.0	100.0	140	100	
	年齢階級 (NLGR2009)										合計	カイ2乗 検定	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			
	n=62		n=62		n=52		n=55		n=40		n=271		
NLGR2009情報の入手先													
ゲイ雑誌	14	22.6	15	24.2	16	30.8	19	34.5	8	20.0	72	26.6	0.429
イベント冊子	16	25.8	20	32.3	27	51.9	27	49.1	13	32.5	103	38.0	0.014
イベントフライヤー	25	40.3	18	29.0	16	30.8	21	38.2	9	22.5	89	32.8	0.316
イベントポスター	12	19.4	12	19.4	7	13.5	12	21.8	4	10.0	47	17.3	0.530
コンドームのパッケージ	5	8.1	1	1.6	6	11.5	6	10.9	2	5.0	20	7.4	0.222
PCサイト	10	16.1	10	16.1	10	19.2	14	25.5	9	22.5	53	19.6	0.669
携帯電話サイト	8	12.9	6	9.7	9	17.3	10	18.2	2	5.0	35	12.9	0.282
mixi	21	33.9	19	30.6	27	51.9	23	41.8	15	37.5	105	38.7	0.172
ゲイ向けSNS	12	19.4	6	9.7	6	11.5	10	18.2	2	5.0	36	13.3	0.175
バーの人から聞いた	17	27.4	28	45.2	27	51.9	25	45.5	12	30.0	109	40.2	0.037
友達から聞いた	44	71.0	41	66.1	35	67.3	30	54.5	20	50.0	170	62.7	0.140
恋人から聞いた	7	11.3	1	1.6	3	5.8	5	9.1	1	2.5	17	6.3	0.154
ゲイショップで知った	4	6.5	2	3.2	7	13.5	6	10.9	4	10.0	23	8.5	0.316
riseで知った	2	3.2	7	11.3	8	15.4	8	14.5	5	12.5	30	11.1	0.229
たまたま通りががって	2	3.2	2	3.2	0	0.0	0	0.0	1	2.5	5	1.8	0.491
今回無料検査会が開催されていた場合受検しようと思っていたか？													
思っていた	44	71.0	43	69.4	34	65.4	40	72.7	23	57.5	184	67.9	0.549
思っていなかった	18	29.0	19	30.6	18	34.6	15	27.3	17	42.5	87	32.1	
合計	62	100.0	62	100.0	52	100.0	55	100.0	40	100.0	271	100.0	

\* NLGR2009 の情報入手先については「認知あり」と回答した人の人数と割合を示した。

## 大阪地域の予防介入プログラムの評価と HIV 感染予防行動の関連要因に関する研究 —バー顧客調査 2009 年の結果—

研究協力者：塩野徳史（名古屋市立大学看護学部／財団法人エイズ予防財団）、市川誠一、金子典代（名古屋市立大学看護学部）、町登志雄、内田優、中村祐子（MASH 大阪）、後藤大輔、辻宏幸（MASH 大阪／財団法人エイズ予防財団）、山田創平（MASH 大阪／京都精華大学）、鬼塚哲郎（MASH 大阪／京都産業大学）

### 研究要旨

大阪地域の商業施設を利用する MSM を対象者とした質問紙調査を実施し、MSM における HIV を含む性感染症に関連した状況や行動を年齢層別に把握し、MASH 大阪の予防介入資材・プログラムの浸透度、HIV 感染行動への価値観や規範などの HIV 感染予防に関連する要因を年齢層別に分析した。ゲイ向け商業施設に調査協力を依頼し 88 店舗で 2,433 部配布し 1,610 部の回収があった。本報告では、複数回答している人を除き、さらに近畿に居住し、性別を男性、その他と回答していて、性指向をゲイまたはバイセクシュアル、わからないと回答した 1,354 名（有効回答率 55.7%）の回答のみを分析の対象とした。

コミュニティスペース dista の認知は全体で 58.4%であり、2005 年（28.8%）、2007 年（38.8%）と比べ高い割合であった。コミュニティペーパー SaL+ の認知は全体で 69.7%であり、2005 年（67.0%）、2007 年（63.7%）と同じ割合であった。知っていると回答している人のうち読んだことがあると回答した人はどの年齢層でも約 9 割であった。

生涯での HIV 抗体検査受検割合は、全体で 51.0%、各年齢層別には 19 歳以下が 25.6%、20-29 歳が 50.5%、30-39 歳が 60.0%、40-49 歳が 50.4%、50-59 歳が 27.4%、60-69 歳が 18.5%であった。過去 1 年間の受検割合は、全体で 26.7%、各年齢層別には 19 歳以下が 20.5%、20-29 歳が 32.0%、30-39 歳が 29.8%、40-49 歳が 19.3%、50-59 歳が 14.3%、60-69 歳が 0%であった。2005 年、2007 年とほぼ同じ割合であった。

コンドーム使用状況について相手別に見てみると 2009 年は特定相手とのコンドーム常用率は 42.6%であり、不特定相手のコンドーム常用率は 54.0%であった。経年的な推移をみると、特定相手との常用割合が上昇していた（2005 年 34.1%→2009 年 42.6%）。また 2007 年時点で不特定相手との常用割合は上昇しており（2005 年 44.9%→2009 年 54.0%）、本調査では同様に高い割合であった。

本調査によって大阪地域の商業施設を利用する MSM の現状を把握し、優先的な MASH 大阪の活動対象についてその介入の効果評価となるデータを得ることが可能となり、多くの知見が得られた。

## A. 研究目的

本研究では、大阪地域の商業施設を利用する MSM を対象者とした質問紙調査をもとに、1) MSM における HIV を含む性感染症に関連した状況や行動を年齢層別に把握し、2) MASH 大阪の予防介入資材・プログラムの浸透度、HIV 感染行動への価値観や規範などの HIV 感染予防に関連する要因を年齢層別に分析すること、3) 2005 年、2007 年に実施した同調査との全体の差異について検討することを目的とした。

## B. 研究方法

MASH 大阪がコミュニティペーパー SaL+ 等の啓発資材を、アウトリーチによって配布している商業施設に調査協力を依頼し、調査協力の同意が得られた 88 店舗に 2,910 部の質問紙配布を依頼し、実施期間中に 2,433 部配布された。質問紙の配布・回収方法については、商業施設のオーナーから顧客への直接手渡しを依頼し、顧客からは直接郵送にて質問紙を回収する方法をとった。対象者には謝礼として商業施設で使用可能なチケットと抽選でアンダーウェアが当選する仕組みとした。全回収数は 1,610 (回収率 66.2%) であった。

質問紙構成は (1) 基本属性 (2) MASH 大阪が行なっている予防介入プログラムへの接触状況 (3) HIV 感染予防に関連する知識および意識、対話経験 (4) HIV 抗体検査受検経験 (5) 性感染症の既往 (6) 性行為経験およびコンドームの使用頻度 (7) 性交時の併用品 (8) 薬物使用経験 (9) 性やエイズに関する規範などであった。本報告では、複数回答している人を除き、さらに近畿に居住し、性別を男性、その他と回答していて、性指向をゲイまたはバイセクシュアル、わからないと自認していると回答した 1,354 名 (有効回答率: 配布数に占める分析対象の割合 55.7%) の回答のみを分析の対象とした。1,354 名のうち生涯に男性との性経験があると回答した人は全体で

96.2% であったが、予防介入の対象には性経験はなくてもゲイ・バイセクシュアルであると自認している人も含まれることを考慮して性行動以外の分析には分析対象とした。

年齢層は 19 歳以下、20-29 歳、30-39 歳、40-49 歳、50-59 歳、60-69 歳の 6 カテゴリーに分類し、質問項目を年齢カテゴリー別に分析した。

データの集計および統計処理には SPSS11.5J (Windows) を用いた。

なお、本研究実施計画については名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得た (ID 番号 08008、09019-2)

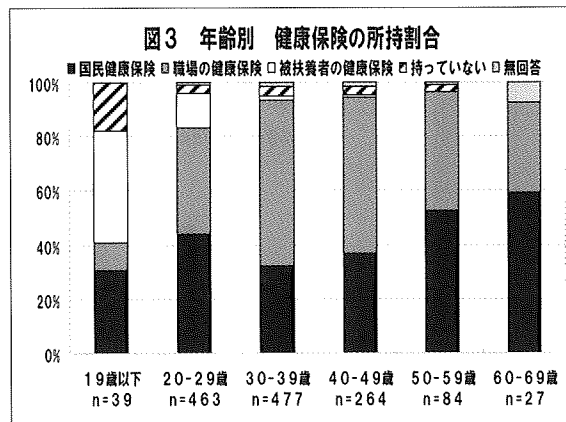
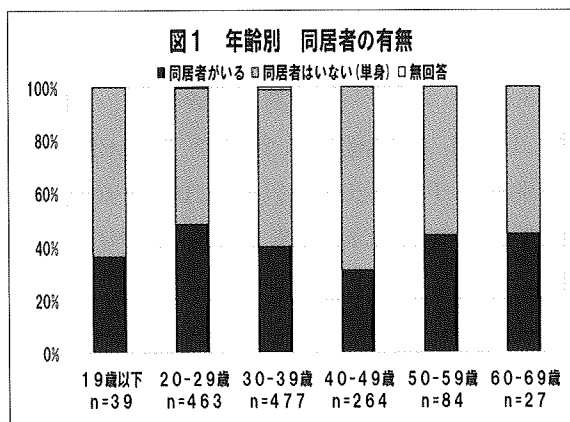
なお、研究結果のうち 2005 年、2007 年の認知割合は研究班報告書を参考にした。別表「大阪地域のバー調査の主要結果の推移」に関しては各年度の分析対象について年齢を一致させ、新たに分析したものを示した。

## C. 研究結果

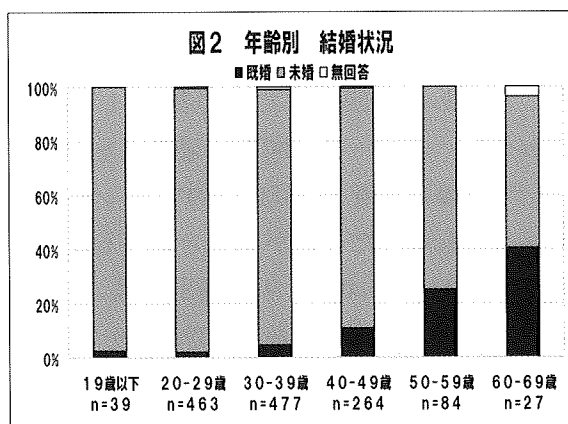
1) 2009 年バー顧客調査回答者の属性と社会的背景について

回答者 1,354 名の属性分布を表 1 に示した。居住地域は大阪府が 76.7%、次いで兵庫県が 12.3%、京都府が 5.6%、他の近畿地域が 5.3% であった。性指向はゲイが 86.1%、バイセクシュアルが 12.4% であった。各年齢層の全体に占める割合は 19 歳以下が 2.9%、20-29 歳が 34.2%、30-39 歳が 35.2%、40-49 歳が 19.5%、50-59 歳が 6.2%、60 歳以上が 2.0% であった。平均年齢±標準偏差は 34.2 歳±10.1 歳であり、最小年齢は 17 歳、最高年齢は 68 歳であった。

年齢層別の同居者の有無について図 1 に示した。年齢層によって同居者がいる割合は異なり、20-29 歳が 47.9% と最も高く、次いで 50 歳以上であった。



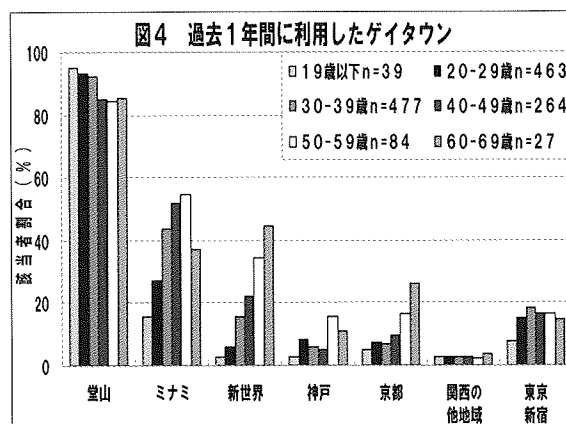
結婚状況について尋ねたところ、全体で同性と結婚していると回答した人が 1.6%、異性と結婚していると回答した人が 5.2%であった。年齢層によって現在同性か異性と結婚していると回答した既婚割合は異なり、高い年齢層では若い年齢層に比べて高い割合であった。(図2)



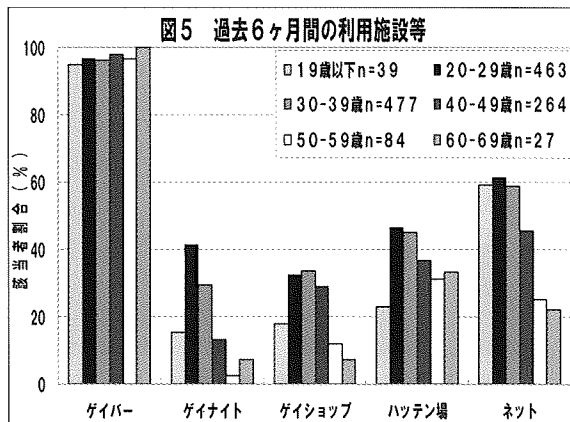
健康保険の所持について尋ねたところ、全体で持っているとは回答した人の割合は 95.1%であり、持っていないとは回答した人やまたは無回答であった人の割合は 5.0%であった。年齢層によって所持している健康保険の種類(または所持していない)は異なり、20歳代以下では被扶養者の健康保険を持っている割合が他の年齢層に比べて高かった。また、19歳以下では持っていないと回答する割合が 17.9%と高かった。一方で20-59歳のどの年齢層においても持っていないと回答する人は約3%であった。(図3)

## 2) 利用したゲイタウンと施設等について

過去1年間に利用したゲイタウンは年齢層によって異なり、堂山は80%以上が利用していると回答しているが若い年齢層でその利用は高い割合であり、ミナミ、新世界、神戸、京都は年齢層が高くなると利用割合も高かった。(表1、図4)



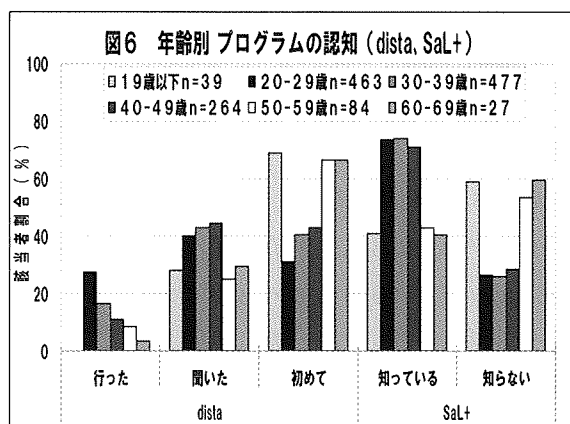
過去6ヶ月間に利用した施設等は、全体でゲイバーが96.6%、ゲイナイトが27.8%、ゲイショップが29.9%、ハッテン場が42.2%、ネットが54.2%であった。年齢層によって利用施設等は異なり、若い年齢層に比べて50歳以上の年齢層ではゲイナイト、ショップ、ネットの利用割合は低い。(表1、図5)



### 3) MASH 大阪プログラムの浸透度

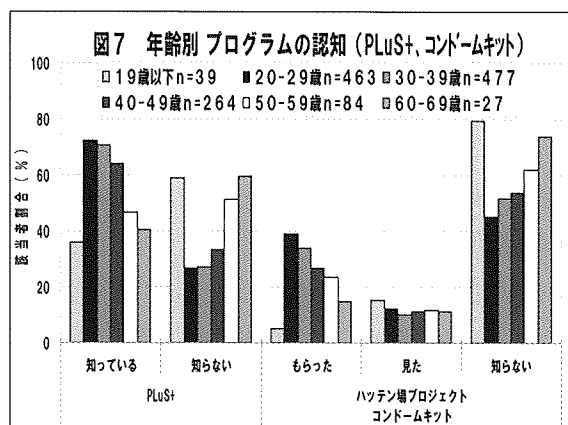
コミュニティスペース dista の認知は全体で 58.4% であり、2005 年 (28.8%)、2007 年 (38.8%) と比べ高い割合であった。行ったことがあると回答した人の割合は 20-29 歳層で 27.6% と最も高い割合であり、聞いたことがあると回答した人の割合は 20-49 歳で 40% 以上であった。(表 2-1、図 6)

コミュニティペーパー SaL+ の認知は全体で 69.7% であり、2005 年 (67.0%)、2007 年 (63.7%) と同じ割合であった。知っている と回答している人のうち読んだことがあると回答した人はどの年齢層でも約 9 割であった。(表 2-1、図 6)

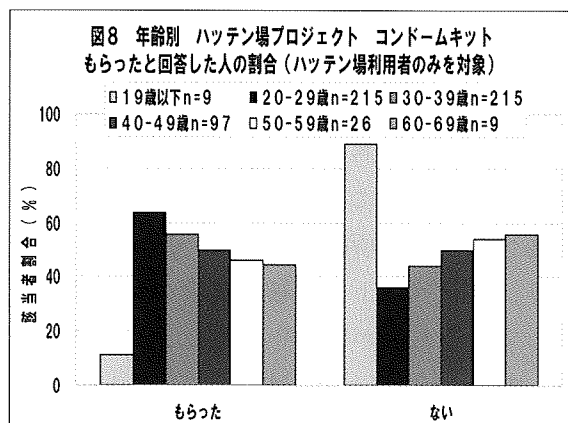


屋外型啓発イベント PLS+ は 2004 年から毎年開催され 6 回目となった。本調査時点では 2009 年開催を含め全 6 回の認知割合を、2005 年度調査では 2004 年開催のみ、2007 年度調査では 2004 年開催から 2006 年開催までの 3 回の認知割合を明らかにした。本調査におけ

る屋外型啓発イベント PLS+ 認知は全体で 66.8% であり、2005 年 (26.4%)、2007 年 (55.9%) と比べ高い割合であった。(表 2-2、図 7) 参加経験は全体で PLS+2004 の 4.1% から PLS+2009 には 24.0% となり参加する人の割合は毎回高くなっていった。(表 2-2)



MASH 大阪が 2009 年より開始したハッテン場利用者向けプロジェクトである Condom Kit の認知は全体で 43.9% であり、もらったことがあると回答した人の割合は 32.5% であった。(表 2-2、図 7) 過去 6 ヶ月間のハッテン場利用者 (n=571) の中で Condom Kit をもらったことがあると回答した人の割合は全体で 56.0%、年齢層別には 19 歳以下が 11.1%、20-29 歳が 63.3%、30-39 歳が 55.3%、40-49 歳が 49.5%、50-59 歳が 46.2%、60 歳以上が 44.4% であった。(P=0.09)



4 つのプログラムのうち特に 50 歳以上の年齢層で 40% 以上の高い認知割合のあるも

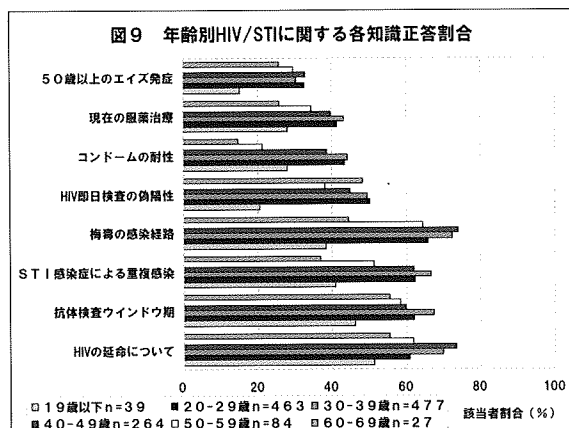


のは SaL+ と PLuS+ であった。(表 2、図 6、図 7)

#### 4) HIV 関連知識の正答割合

HIV 関連知識の正答数割合は年齢層によって異なり、19 歳以下と 50 歳以上の層で他の年齢層に比べて正答割合が低かった。(表 3)

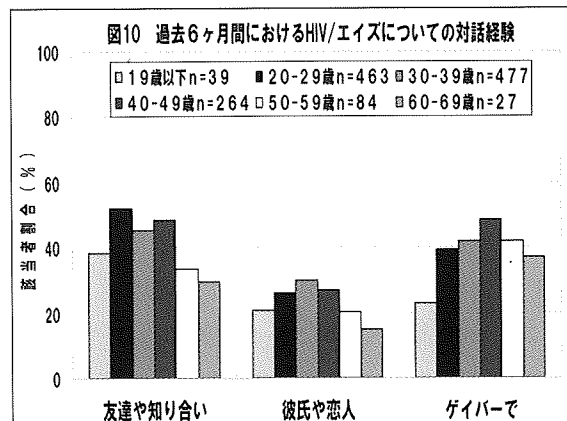
各知識の正答割合では全体の正答数が 50% 以下であったのは HIV 即日検査の擬陽性「HIV 即日検査や自宅検査キットでは感染していなくても陽性(感染している)との誤った結果が出ることもある(正)」とコンドームの耐性「コンドームはハンドクリームや軟膏、ベビーオイルと一緒に使うと破けやすくなる(正)」、現在の服薬治療「現在の治療では、エイズの薬を毎日飲み続ける必要はない(誤)」、50 歳以上のエイズ発症「エイズ発症をきっかけに HIV に感染していることがわかる 50 歳以上の男性は最近増えている(誤)」に関する知識であった。特に HIV 即日検査の擬陽性とコンドームの耐性に関する知識で 19 歳以下と 50 歳以上の年齢層では他の年齢層に比べて正答割合が低い割合であった。(表 3、図 9)



#### 5) HIV/エイズに関する対話経験

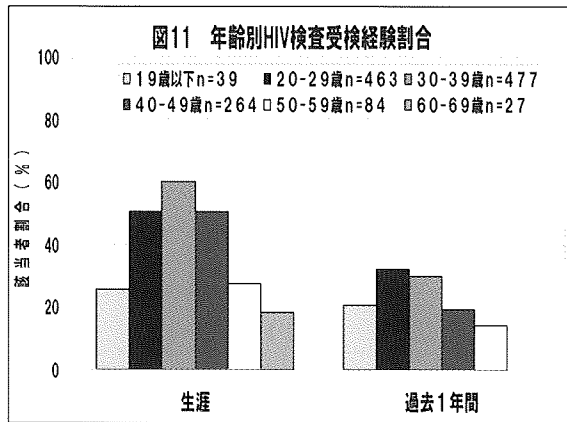
「過去 6 ヶ月間に HIV やエイズについて話したことがありますか?」という質問項目に対し、あると回答した人の割合は、全体で友達や知り合いとでは 47.0%、恋人や彼氏とでは 26.8% (恋人や彼氏がいな

い場合を除くと 42.6%)、ゲイバーなどでお店の人やお客さんとは 41.5% であった。年齢層によって異なり、友達や知り合いとでは 20-29 歳層が最も高く 52.1%、恋人や彼氏とでは 30-39 歳層が最も高く 29.8% (恋人や彼氏がいな場合を除くと 42.6%)、ゲイバーなどでお店の人やお客さんとは 40-49 歳層が最も高く 48.5% であった。(表 4、図 10)



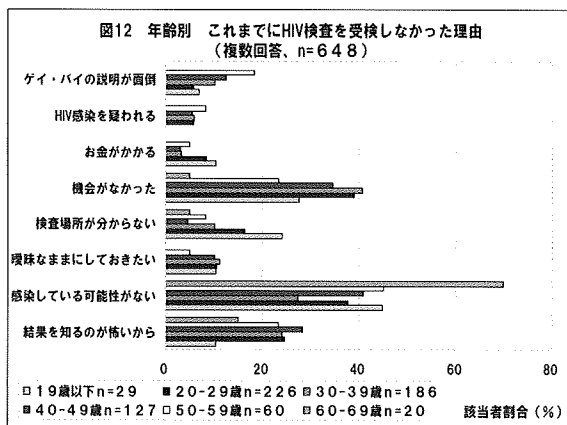
#### 6) HIV 抗体検査受検割合

生涯での HIV 抗体検査受検割合は、全体で 51.0%、各年齢層別には 19 歳以下が 25.6%、20-29 歳が 50.5%、30-39 歳が 60.0%、40-49 歳が 50.4%、50-59 歳が 27.4%、60-69 歳が 18.5% であった。過去 1 年間の受検割合は、全体で 26.7%、各年齢層別には 19 歳以下が 20.5%、20-29 歳が 32.0%、30-39 歳が 29.8%、40-49 歳が 19.3%、50-59 歳が 14.3%、60-69 歳が 0% であった。2005 年、2007 年とほぼ同じ割合であった。過去 1 年間の HIV 検査受検経験は 19 歳以下を除けば年齢層が低いほど高い割合で 20-29 歳層では 32.0% (2005 年 35.0%、2007 年 34.0%) であった。(表 5-1、図 11)



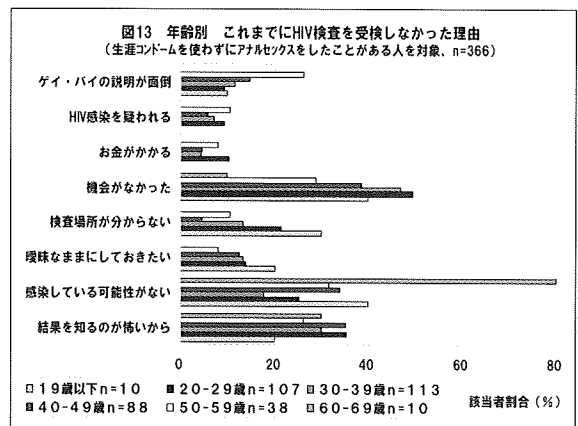
一番最近に受検した検査場所（単数回答）は大阪府内の保健所、病院が多かったが、年齢層との関連は見られなかった。

また本調査では以下の新たな項目を加えた。  
 (1) 生涯受検経験がない回答者の「これまでにHIV検査を受けなかった理由」について、20-39歳層では「場所や時間などの機会がなかった」と回答する人の割合が最も高かった。19歳以下と40-69歳層では「感染している可能性がない」と回答する人の割合が最も高く、20-39歳層と比べても高い割合であった。（表5-1、図12）



さらに同項目について生涯にコンドームを使わずにアナルセックスをしたことがあると回答した人（n=366）を対象にみると、49歳以下の年齢層では「場所や時間などの機会がなかった」と回答する人の割合（38.6%-49.5%）が最も高かった。次いで20-49歳層で「結果を知るのが怖かったから」と回答する人の割合（30.1%-35.5%）が高かった。

19歳以下と50歳以上の年齢層では「感染している可能性がない」と回答する人の割合が高かった。（図13）



(2) セックスした相手とHIV検査の結果について話した経験について尋ねた。海外では予防行動の一つとして、セックスする相手の性感染症の既往について知っていることが注目されていることであるが、その経験について尋ねたところ生涯においてはどの年齢層においても約60%を越える高い割合であった。過去1年間でも20-49歳層では40%を越える割合であった。（表5-2）

(3) 大阪地域におけるHIV検査環境の状況を鑑み、これまでのHIV検査の受検を断わられたり受検できなかった経験について尋ねたところ、あると回答した人の割合は全体で4.4%であった。さらにあると回答した人（n=59）に対してその時期を尋ねた（複数回答）ところ、2007年以前、2008年では全体で28.8%であり、2009年は44.1%であった。（表5-2）

### 7) 性感染症の既往

生涯で性感染症に罹患したことのある人の割合は全体で39.1%（2007年37.3%、2005年29.9%）であり、30歳以上で高かった。（表6）

### 8) HIVに感染する可能性の認知、HIV感染者の知人の有無

### HIVに感染する可能性の認知

過去6ヶ月間の自分自身の行動を振り返ってHIV感染する可能性のある行動をどのくらいとったかについて「絶対無い」から「十分可能性がある」の4段階と「わからない」の5項目を用いて尋ねたところ、「ほとんど無い」が36.9%、次いで「絶対無い」が24.6%であった。「十分可能性がある」と回答しているのは30-39歳層で最も高く11.3%であった。(表3)

### HIV感染者の知人の有無

「あなたの友達や知り合いに、HIVに感染している人はいると思いますか?」という質問に対して「いる」と回答した人の割合は、全体で29.6%であり、若い年齢層ほど高い割合であった。(表3)

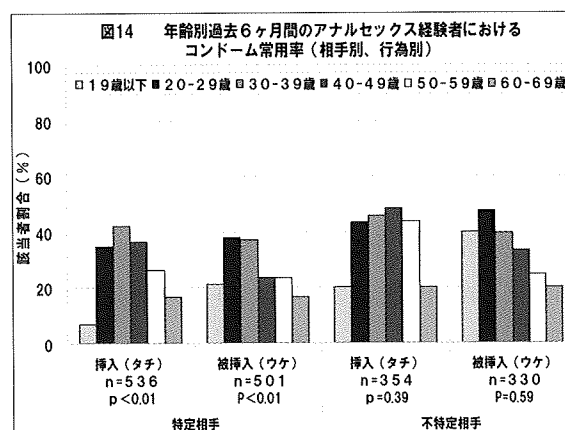
### 9) 性行為経験とコンドーム使用行動

「これまでに男性とアナルセックスの経験がある」と回答した人は全体で85.3%であり、男性との性経験がある(Men who have sex with men)人のうちでは88.6%であった。さらに「これまでにコンドームを使用せずにアナルセックスをした経験」について尋ねたところ、82.0%であった。過去6ヶ月間に特定相手とのアナルセックスの経験があると回答した人の割合は全体で65.9%(2007年52.3%、2005年50.1%)であり、その場限りの相手(以降、不特定相手)とのアナルセックスの経験があると回答した人の割合は全体で59.9%(2007年40.6%、2005年35.6%)であった。

コンドーム使用状況について過去6ヶ月間のアナルセックス経験者を対象に相手の種類別(特定・不特定)、行為別(挿入側・被挿入側)でみると、特定相手とのコンドーム常用率は挿入側(タチ)のときは全体で36.6%(2007年35.8%、2005年34.4%)、被挿入側(ウケ)のときは全体で33.8%(2007年32.9%、2005年36.1%)であった。不特定相手とのコンドーム常用率は挿入側(タチ)の

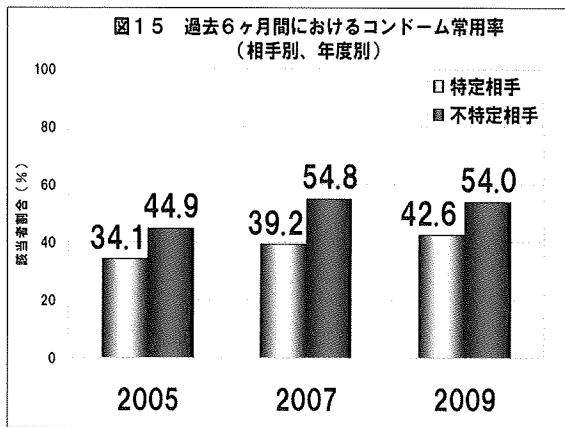
とき全体では44.5%(2007年45.7%、2005年45.5%)、被挿入側(ウケ)のとき全体では40.8%(2007年40.8%、2005年50.0%)であった。(表8)

図14は相手別行為別年齢別のコンドーム常用率について、過去6ヶ月間のアナルセックスにおける挿入/タチ(または被挿入/ウケ)をしていないと回答した人、無回答を除いて集計したものを母数として割合を示した。年齢別にみても、特定相手との場合において20歳から39歳の層で他の年齢層に比べてコンドーム常用率が高かった。一方で不特定相手との場合では年齢層によって明らかな差は見られなかった。



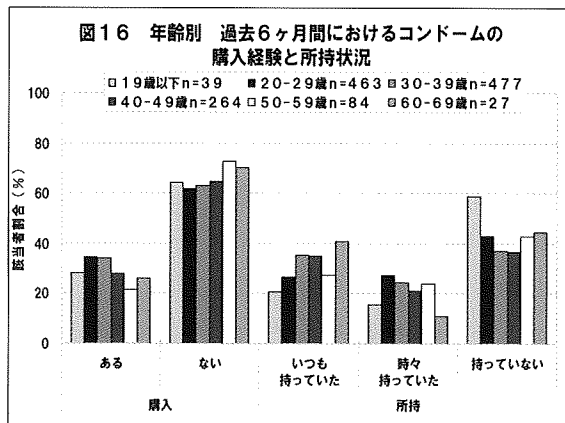
さらに2005年、2007年との経年的な推移を把握することを目的として分析対象を近畿在住の20-69歳として、過去に実施された調査についても新たにデータクリーニングを実施した。その結果を別表に示した。

コンドーム使用状況について相手別にみると2009年は特定相手とのコンドーム常用率は42.6%であり、不特定相手のコンドーム常用率は54.0%であった。(図15)



### 10) コンドーム持参・購入経験

過去6ヶ月間のコンドームの購入経験について「ある」と回答した人は全体で31.8%であり、年齢との関連は見られなかった。過去6ヶ月間のコンドームの所持状況について「いつも持っている」から「持っていなかった」までの3段階で尋ねたところ、年齢層との関連が見られた。全体で「いつも持っている」と回答した人の割合は31.4%で、19歳以下が20.5%、20-29歳が26.3%、30-39歳が35.4%、40-49歳が34.8%、50-59歳が27.4%、60歳以上が40.7%であった。(表7、図16)



### 11) 性交時の併用品、薬物使用経験

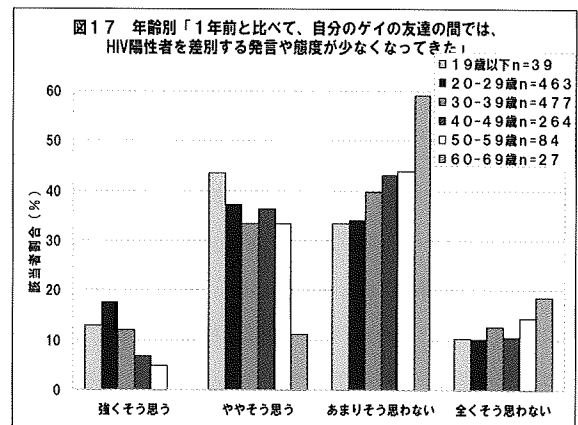
過去6ヶ月間のセックス時の併用品使用割合については表7に示した。全体での水溶性ローションの使用割合は67.8%であり、過去6ヶ月間のアナルセックス経験者 (n=751) のうちでは93.1%であった。全体でのラッシュユの使用割合は9.5%であり、過去6ヶ月間

のアナルセックス経験者 (n=751) のうちでは14.5%であった。

ラッシュユまたは5ME0-DIPT、バイアグラ、スピードなどの薬物の中でひとつでも使用経験があると回答した人の割合は全体で15.3%であり、過去6ヶ月間のアナルセックス経験者 (n=751) のうちでは23.2%であった。

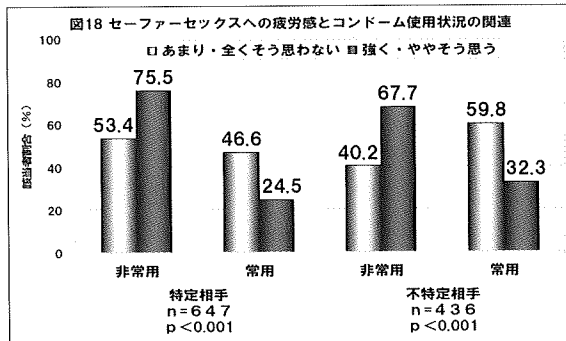
### 12) HIV/エイズに関する規範

「1年前と比べて、自分のゲイの友達の間では、HIV陽性者を差別する発言や態度が少なくなってきた」という質問に対して、「強くそう思う」から「全くそう思わない」の4段階で尋ねたところ、全体では、「あまりそう思わない」と回答する割合が38.8%と最も高く、次いで「ややそう思う」が35.1%であった。年齢層によって異なり、高い年齢層では若い年齢層に比べて、「そう思わない」と回答する割合が高かった。(表10-1、図17)



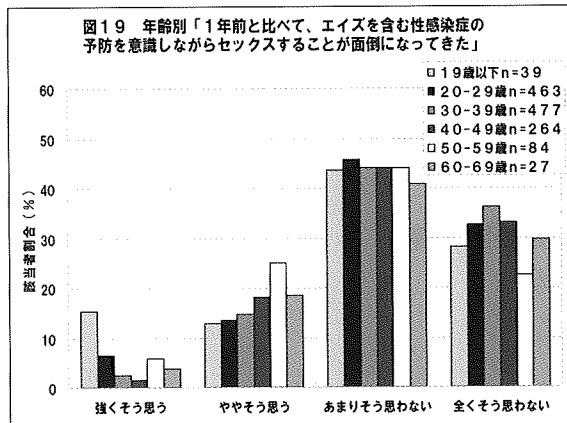
「1年前と比べて、エイズを含む性感染症の予防を意識しながらセックスすることが面倒になってきた」という質問に対して、「強くそう思う」から「全くそう思わない」の4段階で尋ねた。このセーファーセックスへの疲労感は近年海外で予防行動に関して注目されており、長年の予防に対して意識的であった人がその反動から無防備な性行動になりやすいと言われている。近畿地域のMSMにおける状況を明らかにするためにセーファーセック

スへの疲労感と相手別コンドーム使用状況の関連を図 18 に示した。



\*「1年前に比べて、エイズを含む性感染症の予防を意識しながらセックスすることが面倒になってきた」という質問に対して、強く、ややそう思うと回答した人を「そう思う」としてまとめ、あまり、全くそう思わないと回答した人を「そう思わない」としてまとめて集計した。

さらに「1年前と比べて、エイズを含む性感染症の予防を意識しながらセックスすることが面倒になってきた」という質問に対して、「強くそう思う」と回答した人の割合は全体で 4.3%、「ややそう思う」は 15.6%、「あまりそう思わない」は 44.5%、「全くそう思わない」は 33.2%であった。年齢層との関連が見られ、19歳以下と40歳以上では「ややそう思う」と回答する割合が他の年齢層に比べて高かった。(表 10-1、図 19)



#### D. 考察

研究結果を踏まえ、2005年、2007年、2009年の経年的な推移に焦点をあてて考察する。別表には3回の横断調査について年齢を20歳以上69歳以下、近畿在住のMSMを対象として新たに分析した結果を示した。したがって各年度の研究班報告書の結果とは多少異なっ

ている。

以下、経年的な推移を考察する場合については別表で示した「大阪地域のバー調査の主要結果の推移」結果も参考にした。

#### 調査参加者の属性について

2009年度調査は、2005年、2007年に続き同様の方法で実施し、3回の中で最も多い回収数と最も高い有効回収率となった。このことはこれまでのMASH大阪の活動によって安定的なコミュニティとの関係構築の成果といえる。また質問紙調査の方法としても商業施設を利用するMSMの現状を把握するにあたり信頼性における調査規模となったと言える。

調査参加者について回答バイアスが存在するものの、3回の横断調査の平均年齢や居住地構成などはほとんど変わっておらず、比較的コミュニティにおける同様の集団を捉えられたと考えることができる。利用施設の状況についてはクラブ、ショップ利用者が前回に比べて低い割合であったが、年齢層別の傾向は変わっておらず、時代背景の影響が大きいと考えている。

#### MASH大阪のプログラム認知について

MASH大阪の実施しているプログラムは前回2回の調査時点に比べてdista、PLuS+について大きく認知が上昇した一方で、SaL+については70%台でありこれまでとほぼ同様の結果となった。SaL+は配布当初より高い認知であることを考慮すると、現在の人的、資金的な配布能力においては最大限の認知割合となっており、対象のニーズを涵養したコミュニティペーパー資材認知の広まるスピードと継続力について評価すべきであると考えられる。また、今年度より開始されたハッテン場プロジェクトの認知について、ハッテン場利用者では50%以上であり対象にフォーカスしたプログラムの展開という点において評価できると考えられる。

#### HIV 抗体検査受検経験について

HIV 抗体検査受検経験について、前回 2 回と比べて生涯、過去 1 年間の受検経験割合は共にほぼ同様の割合であった。大阪地域では 2008 年前後から検査環境が大幅に変更されており、本調査の結果から受検を断られた経験が約 5%であり、この割合は年々増加している可能性が示唆されている。

一方で本調査では検査受検対象者における受検をしない理由や、健康保険所持状況と受検経験との関連も明らかとなりつつある。こういった状況は年齢層によって異なるため、対象の背景を考慮した介入が必要となると考えられる。

#### コンドーム使用状況について

コンドーム使用状況について、前回 2 回の調査と比較して、特定相手との常用割合が上昇している（2005 年 34.1%→2009 年 42.6%）点は特筆すべき点であると考えられる。また 2007 年時点で不特定相手との常用割合は上昇しており（2005 年 44.9%→2009 年 54.0%）、本調査では同様に高い割合であった。プログラム認知の状況と併せて MASH 大阪の活動の評価となると考えられるが、今後さらに詳細な検討が必要である。

HIV 抗体検査受検経験もコンドーム使用状況についても、前回と同様に高年齢層では 20 歳代、30 歳代と比べて予防行動は促進されていない状況である。本報告では 10 歳区分で示したが年齢階級を 5 歳区分（付表 1 から付表 11 を参照）でみると 45 歳以上の層で予防行動が促進されていないと考えることができる。高年齢層について検討するときにはこの点について考慮すべきである。一方で予防行動に関しては 19 歳以下の若年層にも注意を向ける必要があることが明らかになった。

#### 本調査の限界について

本調査は、質問紙調査であるため回答には調査参加者の記憶に依存している。さらに、対象集団について先行研究で明らかとなっている属性は限られているため、分析対象の代表性については検討することができない。また調査結果については年齢別に分析する際、特に高年齢層においては対象となる総数が少ないことを考慮する必要がある。

#### E. 結語

先に述べた限界点を踏まえた上で本調査の意義は深い。商業施設を利用する MSM の現状を把握し、優先的な MASH 大阪の活動対象についてその介入の効果評価となるデータを得ることが可能となり、多くの知見が得られた。本調査によって通算 3 回の横断調査を実施することとなり、経年的な推移についてはさらに詳細な分析をすることが可能となった。

また本調査では、コンドーム使用に影響する要因とコンドーム使用に関する規範について明らかとするための項目を追加し、分析するために十分な回答を得ることができた。これらは今後の介入の方向性を検討するために重要なデータであるため慎重に分析を進めていく必要がある。

#### F. 発表論文等

なし

別表1 大阪地域のバー調査の主要結果の推移1

	2005年 n=496	2007年 n=912	2009年 n=1315
<b>年齢</b>			
平均値(標準偏差)	33.8±9.8	34.9±9.7	34.7±9.9
<b>居住地</b>			
大阪府	375(75.6)	713(78.2)	1008(76.7)
京都府	32(6.5)	61(6.7)	73(5.6)
兵庫県	74(14.9)	106(11.6)	164(12.5)
その他	13(2.6)	32(3.5)	70(5.3)
無回答	2(0.4)	-	-
<b>過去6ヶ月間の利用施設あり</b>			
ゲイバー	484(97.6)	886(97.1)	1271(96.7)
ゲイナイト	117(23.6)	315(34.5)	370(28.1)
ショップ	210(42.3)	461(50.5)	398(30.3)
ハッテン場(有料、野外)	230(46.4)	448(49.1)	562(42.7)
ネット(出会い系サイト、mixi)	191(38.5)	440(48.2)	711(54.1)
<b>過去6ヶ月間のプログラムの認知</b>			
Dista 認知あり	149(30.0)	363(39.8)	780(59.3)
SaL+認知あり	364(73.4)	587(64.4)	928(70.6)
PLuS+認知あり	193(38.9)	518(56.8)	891(67.8)
<b>HIV/STI 予防知識の正当数</b>			
平均未満	156(31.5)	393(43.1)	655(49.8)
平均以上	340(68.4)	519(56.9)	660(50.2)
<b>過去6ヶ月間を振り返って感染可能性*1</b>			
		n=903	
絶対ない	55(11.1)	74(8.2)	317(24.1)
ほとんどない	171(34.5)	313(34.7)	491(37.3)
五分五分	113(22.8)	236(26.1)	194(14.8)
十分可能性がある	74(14.9)	160(17.7)	128(9.7)
わからない	72(14.5)	107(11.8)	157(11.9)
無回答	11(2.2)	13(1.4)	28(2.1)

\* 2005年、2007年の調査結果は20歳以上69歳以下、近畿在住のMSM(介入対象)を対象として新たに分析した。

\* ()内は%

\* 1 回答のうち陽性者である(2007年)は除いたため総数は異なる。

別表2 大阪地域のバー調査の主要結果の推移2

	2005年 n=496	2007年 n=912	2009年 n=1315
<b>特定相手とのコンドーム使用行動 (過去6ヶ月間のアナルセックス時)</b>			
常用	78(34.1)	186(39.2)	273(42.6)
非常用	151(65.9)	288(60.8)	368(57.4)
<b>不特定相手とのコンドーム使用行動 (過去6ヶ月間のアナルセックス時)</b>			
常用	70(44.9)	205(54.8)	234(54.0)
非常用	86(55.1)	169(45.2)	199(46.0)
<b>過去6ヶ月間のコンドーム購入経験</b>			
あり	150(30.2)	344(37.7)	419(31.9)
なし	336(67.7)	533(58.4)	837(63.7)
無回答	10(2.0)	35(3.8)	59(4.5)
<b>生涯 HIV 抗体検査受検経験</b>			
受けた	-	494(54.2)	681(51.8)
受けていない	-	409(44.8)	619(47.1)
無回答	-	9(1.0)	15(1.1)
<b>過去1年間の HIV 抗体検査受検経験</b>			
受けた	135(27.2)	269(29.5)	353(26.8)
過去1年には受けていない	358(72.2)	225(24.7)	286(21.7)
1年以上前に陽性を確認	-	-	28(2.1)
答えたくない	-	-	12(0.9)
無回答・非該当	3(0.6)	418(45.8)	636(48.4)

\* 2005年、2007年の調査結果は20歳以上69歳以下、近畿在住のMSM(介入対象)を対象として新たに分析した。

\* ( )内は%



別表3 大阪地域のバー調査の主要結果の推移3

	2005年 n=496	2007年 n=912	2009年 n=1315
<b>過去6ヶ月間のアナルセックス相手</b>	n=280	N=587	n=732
特定相手のみ	121(43.2)	206(35.1)	289(39.5)
特定・不特定どちらも	110(39.3)	275(46.8)	363(49.6)
不特定相手のみ	49(17.5)	106(18.1)	80(10.9)
<b>コンドーム使用状況 (過去6ヶ月間のアナルセックス時)</b>	n=280	n=587	n=732
常用	90(32.1)	213(36.3)	309(42.2)
非常用	190(67.9)	374(63.7)	423(57.8)
<b>最後のアナルセックス時の コンドーム使用行動</b>	n=291		n=740 (過去6ヶ月間)
使用	169(58.1)	-	450(60.8)
不使用	115(39.5)	-	268(36.2)
わからない・無回答	7(2.4)	-	22(3.0)
<b>過去6ヶ月間の薬物の使用経験*1</b>			
いずれかあり	-	213(23.4)	205(15.6)
なし・無回答	-	699(76.6)	1110(84.4)
<b>周囲の感染者の身近感</b>			
いる	130(26.2)	319(35.0)	394(30.0)
いると思う	-	169(18.5)	379(28.8)
いないと思う	-	235(25.8)	180(13.7)
いない	351(70.8)	176(19.3)	58(4.4)
わからない	-	-	289(22.0)
無回答	15(3.0)	13(1.4)	15(1.1)

\* 2005年、2007年の調査結果は20歳以上69歳以下、近畿在住のMSM(介入対象)を対象として新たに分析した。

\* ( )内は%

\* 1 過去6ヶ月間のアナルセックスにおいてラッシュを含む脱法、違法薬物のいずれかを併用した割合

別表4 大阪地域のバー調査の主要結果の推移4

	2005年 n=496	2007年 n=912	2009年 n=1315
<b>生涯の性感染症(STI)既往歴</b>			
あり	147(29.6)	353(38.7)	528(40.2)
なし	345(69.6)	549(60.2)	759(57.7)
無回答	4(0.8)	10(1.1)	28(2.1)
<b>過去1年間の性感染症(STI)既往歴</b>			
あり	29(5.8)	52(5.7)	-
なし	15(3.0)	281(30.8)	-
非該当	346(69.6)	549(60.2)	-
無回答	107(21.5)	30(3.3)	-
<b>生涯の性感染症罹患割合(STI別)</b>			
HIV	7(1.4)	13(1.4)	41(3.1)
A型肝炎	6(1.2)	12(1.3)	7(0.5)
B型肝炎	22(4.4)	50(5.5)	57(4.3)
C型肝炎	-	-	7(0.5)
クラミジア	31(6.2)	62(6.8)	88(6.7)
淋病	47(9.5)	72(7.9)	93(7.1)
性器ヘルペス	4(0.8)	-	22(1.7)
尖圭コンジローマ	9(1.8)	-	46(3.5)
アメーバ赤痢	2(0.4)	13(1.4)	11(0.8)
毛じらみ	19(3.8)	220(24.1)	243(26.1)
梅毒	37(7.4)	86(9.4)	126(9.6)

\* 2005年、2007年の調査結果は20歳以上69歳以下、近畿在住のMSM(介入対象)を対象として新たに分析した。

\* ()内は%

表1 対象者の属性と過去6ヶ月間における施設等の利用状況

	年齢階級												合計 n=1354	カイ2乗 検定	
	19歳以下 n=39		20-29歳 n=463		30-39歳 n=477		40-49歳 n=264		50-59歳 n=84		60-69歳 n=27				
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			
<b>居住地域</b>															
大阪府	31	79.5	345	74.5	379	79.5	207	78.4	57	67.9	20	74.1	1039	76.7	0.277
京都府	3	7.7	27	5.8	23	4.8	15	5.7	5	6.0	3	11.1	76	5.6	
兵庫県	3	7.7	57	12.3	61	12.8	30	11.4	13	15.5	3	11.1	167	12.3	
滋賀県	2	5.1	18	3.9	7	1.5	6	2.3	6	7.1	0	0.0	39	2.9	
奈良県	0	0.0	16	3.5	7	1.5	6	2.3	3	3.6	1	3.7	33	2.4	
合計	39	100.0	463	100.0	477	100.0	264	100.0	84	100.0	27	100.0	1354	100.0	
<b>性的指向</b>															
ゲイ	33	84.6	391	84.4	421	88.3	237	89.8	65	77.4	19	70.4	1166	86.1	0.000
バイセクシュアル	6	15.4	66	14.3	54	11.3	23	8.7	14	16.7	5	18.5	168	12.4	
ヘテロセクシュアル	0	0.0	1	0.2	0	0.0	2	0.8	0	0.0	0	0.0	3	0.2	
わからない	0	0.0	3	0.6	1	0.2	2	0.8	4	4.8	3	11.1	13	1.0	
その他	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	1	1.2	0	0.0	2	0.1	
無回答	0	0.0	1	0.2	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.1	
合計	39	100.0	463	100.0	477	100.0	264	100.0	84	100.0	27	100.0	1354	100.0	
<b>同居者の有無</b>															
同居者がいる	14	35.9	222	47.9	190	39.8	82	31.1	37	44.0	12	44.4	557	41.1	0.005
同居者はいない(単身)	25	64.1	239	51.6	283	59.3	182	68.9	47	56.0	15	55.6	791	58.4	
無回答	0	0.0	2	0.4	4	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	0.4	
合計	39	100.0	463	100.0	477	100.0	264	100.0	84	100.0	27	100.0	1354	100.0	
<b>結婚状況</b>															
同性と結婚している	1	2.6	6	1.3	5	1.0	4	1.5	4	4.8	1	3.7	21	1.6	0.000
異性と結婚している	0	0.0	4	0.9	16	3.4	24	9.1	17	20.2	10	37.0	71	5.2	
未婚	38	97.4	451	97.4	452	94.8	234	88.6	63	75.0	15	55.6	1253	92.5	
無回答	0	0.0	2	0.4	4	0.8	2	0.8	0	0.0	1	3.7	9	0.7	
合計	39	100.0	463	100.0	477	100.0	264	100.0	84	100.0	27	100.0	1354	100.0	
<b>健康保険の所持割合</b>															
国民健康保険	12	30.8	203	43.8	153	32.1	97	36.7	44	52.4	16	59.3	525	38.8	0.000
職場の健康保険	4	10.3	182	39.3	293	61.4	152	57.6	37	44.0	9	33.3	677	50.0	
被扶養者の健康保険	16	41.0	59	12.7	7	1.5	3	1.1	0	0.0	0	0.0	85	6.3	
持っていない	7	17.9	14	3.0	16	3.4	8	3.0	2	2.4	0	0.0	47	3.5	
無回答	0	0.0	5	1.1	8	1.7	4	1.5	1	1.2	2	7.4	20	1.5	
合計	39	100.0	463	100.0	477	100.0	264	100.0	84	100.0	27	100.0	1354	100.0	
<b>過去1年間に利用したゲイタウン</b>															
堂山	37	94.9	431	93.1	440	92.2	224	84.8	71	84.5	23	85.2	1226	90.5	0.001
ミナミ	6	15.4	125	27.0	208	43.6	137	51.9	46	54.8	10	37.0	532	39.3	0.000
新世界	1	2.6	27	5.8	74	15.5	58	22.0	29	34.5	12	44.4	201	14.8	0.000
神戸	1	2.6	38	8.2	29	6.1	13	4.9	13	15.5	3	11.1	97	7.2	0.014
京都	2	5.1	35	7.6	32	6.7	25	9.5	14	16.7	7	25.9	115	8.5	0.001
関西の他地域	1	2.6	12	2.6	13	2.7	7	2.7	2	2.4	1	3.7	36	2.7	1.000
東京・新宿	3	7.7	71	15.3	88	18.4	43	16.3	14	16.7	4	14.8	223	16.5	0.544
その他	0	0.0	23	5.0	26	5.5	15	5.7	5	6.0	0	0.0	69	5.1	0.550
いずれも行っていない	2	5.1	6	1.3	7	1.5	2	0.8	0	0.0	0	0.0	17	1.3	0.233
<b>過去6ヶ月間の利用施設等</b>															
ゲイバー	37	94.9	447	96.5	458	96.0	258	97.7	81	96.4	27	100.0	1308	96.6	0.725
ゲイナイト(クラブ)	6	15.4	191	41.3	140	29.4	35	13.3	2	2.4	2	7.4	376	27.8	0.000
ゲイショップ	7	17.9	150	32.4	160	33.5	76	28.8	10	11.9	2	7.4	405	29.9	0.000
ハッテン場(有料・野外)	9	23.1	215	46.4	215	45.1	97	36.7	26	31.0	9	33.3	571	42.2	0.002
ネット(出会い系・SNS)	23	59.0	284	61.3	280	58.7	120	45.5	21	25.0	6	22.2	734	54.2	0.008
ゲイサークル	2	5.1	43	9.3	40	8.4	10	3.8	1	1.2	0	0.0	96	7.1	0.000
ゲイの合コン	2	5.1	40	8.6	14	2.9	6	2.3	3	3.6	0	0.0	65	4.8	0.000
ゲイの乱パ	0	0.0	7	1.5	10	2.1	3	1.1	2	2.4	0	0.0	22	1.6	0.779
いずれも利用しなかった	2	5.1	5	1.1	6	1.3	4	1.5	2	2.4	0	0.0	19	1.4	0.378

表2-1 予防介入プログラムの接触状況 (dista、SaL+)

	年齢階級												合計 n=1354	カイ2乗 検定	
	19歳以下 n=39		20-29歳 n=463		30-39歳 n=477		40-49歳 n=264		50-59歳 n=84		60-69歳 n=27				
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			
<b>distaの利用</b>															
行ったことがある	0	0.0	128	27.6	78	16.4	29	11.0	7	8.3	1	3.7	243	17.9	0.000
聞いたことがある	11	28.2	186	40.2	204	42.8	118	44.7	21	25.0	8	29.6	548	40.5	
初めて聞いた	27	69.2	143	30.9	193	40.5	113	42.8	56	66.7	18	66.7	550	40.6	
無回答	1	2.6	6	1.3	2	0.4	4	1.5	0	0.0	0	0.0	13	1.0	
合計	39	100.0	463	100.0	477	100.0	264	100.0	84	100.0	27	100.0	1354	100.0	
<b>SaL+の認知</b>															
知っている	16	41.0	340	73.4	353	74.0	188	71.2	36	42.9	11	40.7	944	69.7	0.000
知らない	23	59.0	122	26.3	124	26.0	75	28.4	45	53.6	16	59.3	405	29.9	
無回答	0	0.0	1	0.2	0	0.0	1	0.4	3	3.6	0	0.0	5	0.4	
合計	39	100.0	463	100.0	477	100.0	264	100.0	84	100.0	27	100.0	1354	100.0	
<b>SaL+を読んだこと</b>															
読んだことがある	13	33.3	302	65.2	328	68.8	165	62.5	34	40.5	10	37.0	852	62.9	0.000
読んだことがない	3	7.7	37	8.0	25	5.2	22	8.3	2	2.4	1	3.7	90	6.6	
非該当	23	59.0	123	26.6	124	26.0	76	28.8	48	57.1	16	59.3	410	30.3	
無回答	0	0.0	1	0.2	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0	2	0.1	
合計	39	100.0	463	100.0	477	100.0	264	100.0	84	100.0	27	100.0	1354	100.0	
<b>SaL+を持って帰ったこと</b>															
ある	6	15.4	178	38.4	227	47.6	111	42.0	22	26.2	8	29.6	552	40.8	0.000
ない	10	25.6	159	34.3	126	26.4	76	28.8	13	15.5	3	11.1	387	28.6	
非該当	23	59.0	123	26.6	124	26.0	76	28.8	48	57.1	16	59.3	410	30.3	
無回答	0	0.0	3	0.6	0	0.0	1	0.4	1	1.2	0	0.0	5	0.4	
合計	39	100.0	463	100.0	477	100.0	264	100.0	84	100.0	27	100.0	1354	100.0	